

小説

小さな手袋

て ふくろ

内海 隆一郎
うちみ りょういちろう

P.18~30

- 管場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。
- 管場人物どうしの交流をとおして、人と人との触れ合いについて自分の考えをもつ。

むしばむ

教18ページ7行め

■語句の意味を辞書で調べよう。

意味のたくさんある語句は、教科書で使われている意味を書いて。用例も参考にしよう。

語句



おもかげ

教18ページ1行め

〈用例〉この辺りの街並みは戦前のおもかげを残している。

うつそう

教18ページ4行め

〈用例〉うつそうと茂る森。

まばら

教18ページ5行め

〈用例〉夜になると人通りがまばらになる。

- 用例 公害が人々の健康をむしばむ。

むしばむ

教18ページ7行め

放射状

教18ページ10行め

〈用例〉窓ガラスに放射状のひびが入る。

真偽

教20ページ19行め

〈用例〉うわさの真偽は定かでない。

趣

教21ページ12行め

〈用例〉イギリスの趣がある庭園。

にっさん
日参

教 21 ページ 18 行め

〈用例〉自由研究のために図書館に日参する。

か
驅る

教 22 ページ 2 行め

〈用例〉全速力で馬を驅る。

おえつ

教 26 ページ 15 行め

〈用例〉悲しい映画を見ておえつをもらす。

じきょ
辞去

教 27 ページ 11 行め

〈用例〉先生のお宅を辞去する。

「間髪」を「かんぱつ」と読まないよう
にしよう。「間、髪を入れず」。髪の毛一
本を挟むすきもないという意味だよ。



短文を作ろう。

さつ
察する

教 24 ページ 6 行め

〈意味〉周りの状況から、相手の事情や気持ちのおおよそ
を知る。

視線を宙に泳がせる

教 25 ページ 4 行め

〈意味〉考えごとや気まずいことなどがあつて、目を相手か
らそらし、あらぬ方に向ける。

間髪を入れず

教 25 ページ 10 行め

〈意味〉間をおかず、すぐに。

■類義語を調べよう。

沈着

(教 20 ページ 8 行め)

〈意味〉慌てないで、落ち着いている。

読解

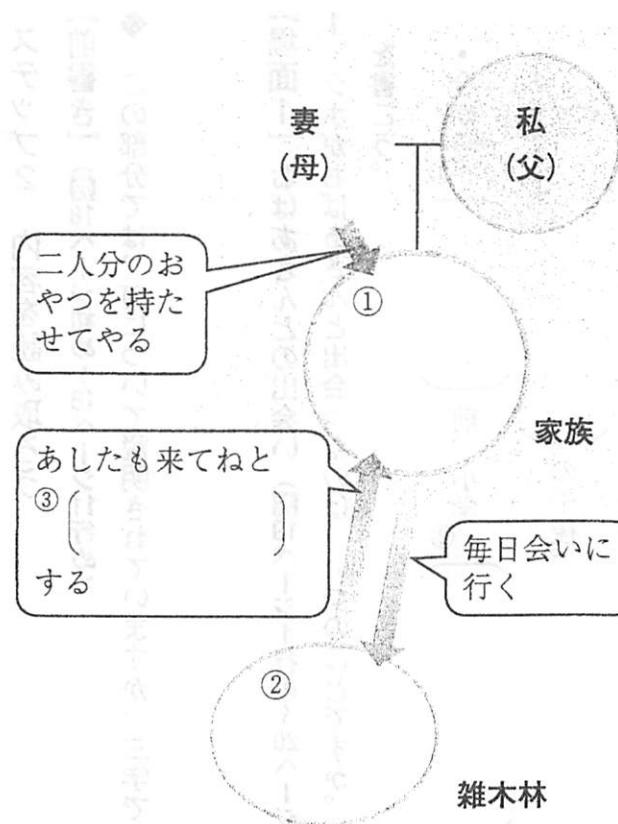
ステップ1 内容を整理しよう

◆次の場面について、「 」にあてはまることばを入れて人物相関図を完成させよう。(同じ番号のところは同じ名前が入ります。)

読み方を学ぼう1年2「人物相関図」(教巻末折り込み)
を応用してみよう!

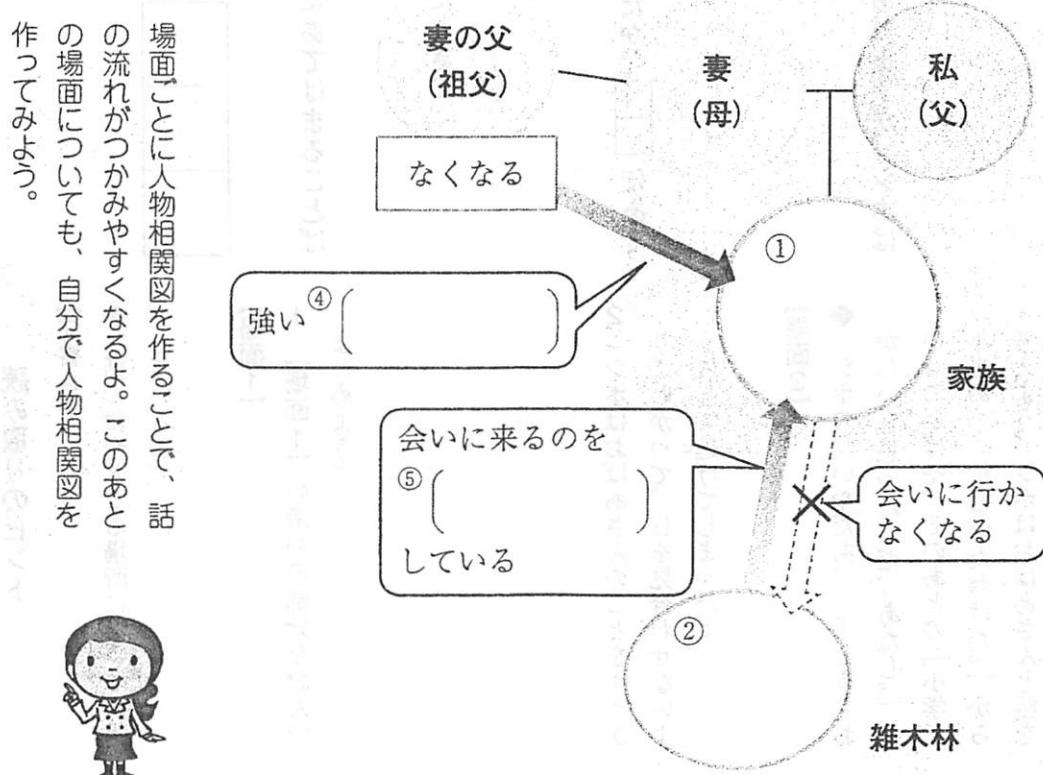
毎日雑木林にシホが訪ねている場面

(教19ページ1行め~23ページ3行め)



シホが雑木林に行かなくなつた場面

(教23ページ4行め~24ページ8行め)



場面ごとに人物相関図を作ることで、話の流れがつかみやすくなるよ。このあとの場面についても、自分で人物相関図を作つてみよう。



ステップ2 内容を読み取ろう

【前書き】(教18ページ初め～18ページ11行め)

◆ 「」の部分では、何について説明されていますか。三字で書こう。

読み取りのヒント

【前書き】

◆ 話の舞台となる場所について説明しているよ。



【場面1】おばあさんとの出合い (教19ページ1行め～20ページ14行め)

1 シホがおばあさんと出合ったのは、この「」ですか。「」にあてはまる「」とばを書こう。

・今から^①
　　) 前、小学^②
　　) の午後。
　　) だつたときの、

2 初めておばあさんに会ったとき、シホはどんな印象をもちましたか。□□にあてはまる」とばを教科書から六字で抜き出そう。

- ・童話の本に出てくる

--	--	--	--	--	--

【場面2】

◆ シホの「いやだあ、……どうもおかしい」と思ったんだ、あだじ。」と

何の真偽を確かめたのですか。適切なものを次の中から選ぼう。

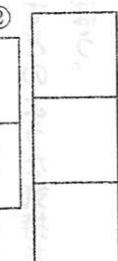
ア おばあさんが童話に出てきた妖精かどうか。
イ おばあさんが林にいたのは現実かどうか。
ウ おばあさんが魔法を使えるかどうか。
エ おばあさんが病院の入院患者かどうか。

()

[場面3] おばあさんとの日々 (教21ページ7行め～23ページ3行め)

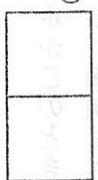
- 1 おばあさんはどのような人でしたか。□の字数であてはまることばを教科書から抜き出そう。

・雑木林のそばにある病院の、①

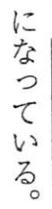


病棟の入院患者。

以上も入院しており、脳卒中のため③



と右足が不自由



になつてゐる。

- 2 十一月に入つても、シホが雑木林へ行くのをやめなかつたのはなぜですか。()

にあてはまることばを考えて書こう。

- ・おばあさんがシホに会うことなどを①()に思つており、いつも、次

の日も会いに行くことを②()してゐたから。



[場面4] 祖父の死 (教23ページ4行め～24ページ8行め)

- 1 東北から戻つてから、シホがおばあさんに会いに行かなくなつたのはなぜですか。□にあてはまることばを①は一字、②は三字で教科書から抜き出そう。

- ・初めて体験する身近な人の①によつて、心に②を受けた
から。

読み取りのヒント

[場面3]

- 1 [場面3] の最初の部分に注目しよう。

シホがおばあさんと毎日のように話をする中で、おばあさんがどんな人なのがわかつたんだよ。



[場面4]

- 2 「だつてえ」から始まるシホのことばに、シホが雑木林へ行く理由が書かれているよ。シホはおばあさんが自分に会いたがつてくれることうれしく思つているんだよ。

- 1 祖父との永遠の別れは、九歳のシホにとつて大きな衝撃を受けるできごとだつたんだよ。永遠の別れ、大きな衝撃と同じ内容を表すことばを探そう。

2 「私たちにはそのときの娘の心に立ち入る」とはどうしてもできなかつた」(教24ページ7行め)

とあります。このときの「私」と妻(シホの父と母)の気持ちとして、適切なものを次の中から選ぼう。

ア うるさいことを言って、シホが反抗的な子になつたら困る。

イ おばあさんことは早く忘れてほしいので、ちょうどよかつた。

ウ おばあさんのことを言って、シホの傷ついた心を刺激したくない。

エ 記憶はそのうち元に戻るだろうから、今はそつとしておこう。

【場面5】小さな手袋(教24ページ9行め~27ページ10行め)

1 一年半後、シホがおばあさんのことを思い出した「ちょっととしたきつかけ」(教24ページ10行め)はどのようなことでしたか。教科書のことばを使って書いて書こう。



【場面5】

「気軽にそうに」(教25ページ1行め)とあることから、シホがこのときおばあさんに対してどのような気持ちをもつていたことが読み取れますか。適切なものを次の中から選ぼう。

ア おばあさんのことが心配で様子を聞くのが怖かつた。

イ おばあさんのことを特に深刻に考えてはいなかつた。

ウ おばあさんがどうしているか聞くのが楽しみだつた。

エ おばあさんがどうなつていようがいいと思つていた。

読み取りのヒント

2 「私」も妻も、シホがおばあさんところへ行かなくなつたのは、祖父の死がきっかけだとわかつているよ。おばあさんの話題を出すと、シホが苦しむかもしれないと思つて何も言えなかつたんだ。

シホは毎日会いに行つていた大好きなおばあさんのことをすつかり忘れてしまつたかのように、雑木林へ出かけなくなつてしまつたよ。祖父の死による衝撃が、それだけ強かつたんだね。

1 行きつけの病院がお休みなので、雑木林のそばの病院へ行くことになつたよ。

二年半の間、シホがおばあさんに会いに行かなかつたこともおさえよう。

2 ずいぶん久しぶりだけれど、元気かなというくらいの気持ちでいたんだね。

3 中年の修道女の話を聞いて、おばあさんからのクリスマスプレゼントを受け取った

中年の修道女の話を聞いて、おばあさんからのクリスマスプレゼンときのシホの気持ちを、おばあさんに語りかける形で考えて書こう。

読み取りのヒント

- おばあさんに語りかける形で考えて書こう。
おばあさんと一緒に歩くときのシホの気持ちを、
おばあさんに語りかける形で考えて書こう。

4 おばあさんに会いに行こうとしたシホを、修道女が押しつぶめたのはなぜですか。
□にあてはまることばを教科書から十八字で抜き出そう。

3 シホが「二年以上も」とつぶやいたことや、小さな手袋を顔に押しつけて泣いていることから考えよう。おばあさんは、右手が不自由で、親指大の人形を編むのも時間がかかるついたね。手袋^{てぶくろ}を編むのはどんなに大変だつただろう。

4 シホを今のおばあさんに会わせて
も、シホがつらいだけだと思って押

一年半の歳月は「取り戻す」とので
きないものだったんだ。



場面6

- ◆ [場面6] 病院からの帰り道（教27ページ11行め～27ページ終わり）
シホが雑木林へ寄つていきたいと言つたときの気持ちとして、適切なものを次のなか

から。お供は、アラカルトで

から選ぼう。

ア
おばあちゃんは、私が来るのをずっと待っていてくれた。だから今度は私が毎日

雜木林に行つておばあちゃんが来るのを待とう。

桃^{なつ}めて、おばあちゃんのことは忘れよう。

おばあちゃんとはもう一度と前のように過ごすことはできない。せめて雑木林に

行って、あの頃の思い出を振り返りたい。

卷之三

◆ 病院でのできごとから、シホがどんな気持ちになつてゐるか考えよう。

ステップ3 考えを深めよう

◆ この小説の題名である「小さな手袋」について考えよう。

読み方を
学ぼう②

象徴 (数30ページ)

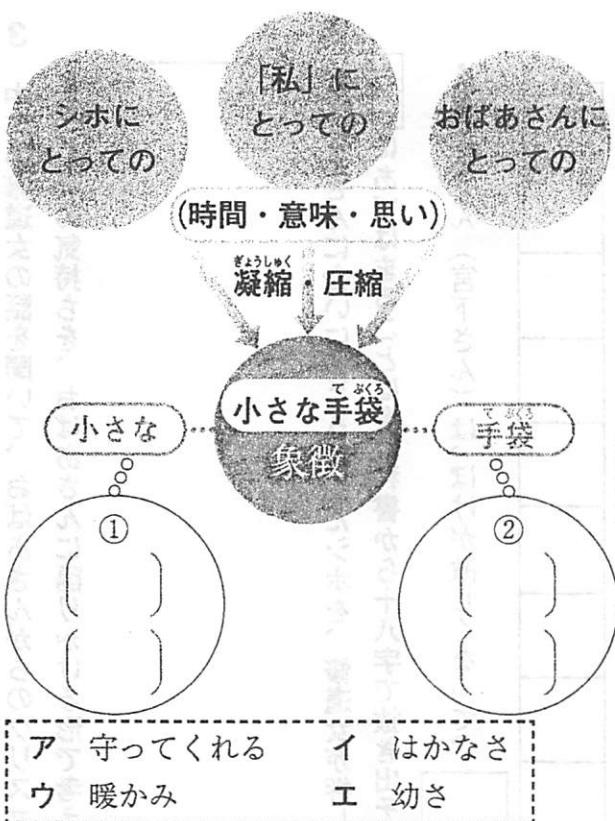
象徴とは…

さまざまな事柄^{ことがら}を一つの物に凝縮^{ぎょうしゅく}して表現する方法。

連想によつて読み解くことができる。

(1) 「小さな手袋」は何を象徴しているでしょうか。()

にあてはまることばを下の□から選ぼう。



(2) 次の登場人物にとって、「小さな手袋」にこめられた

時間・意味・思いはどのようなものでしようか。()

にあてはまることばをあととの□から選んで書こう。

シホ

・おばあさんに会いに行かなかつた(1) 年月。

・会いに行かなかつたことへの(2) 。

・もう(3) という寂しさ。

・会わない間も自分を思ついてくれた、おばあさんの(4) を感じるもの。

・深い(4) (5) (6) (7) の期間。

・「私」(シホの父)
・おばあさんと娘の交流、娘の(5) (6) (7) の証。

おばあさん

・シホのために、不自由な手で手袋を編んだ

願い。
二年半
一か月半
後悔
成長
会いたい
会えない
シホに(7) 、シホを元気づけたいという

愛情
会いたい
会えない
シホに(7) 、シホを元気づけたいという

■小さな手袋 (P. 4~11)

◆語句◆

意味

おもかげ…昔のことを思い出させるもの。

うつそう…たくさんの中や木がこんもり茂って、薄暗い様子。

まばら…ところどころに少しだけある。

むしばむ…少しづつだめにする。

放射状…中心から線状のものが四方八方に伸びている形状。

真偽…本当かうそか。

趣…全体から感じられる様子。

日参…頼みごとなどがあつて、毎日相手のところへ訪ねていくこと。

駆る…せきたてて走らせる。

おえつ…声をつまらせながら、しゃくりあげて泣くこと。

辞去…別れの挨拶をして、立ち去ること。

短文…

察する

例主人公の気持ちを察する。

視線を宙に泳がせる

間髪を入れず

例クイズの答えが思い浮かばず、視線を宙に泳がせる。

質問に間髪を入れず答える。

類義語…

沈着… 冷静、泰然

◆読解◆

ステップ1

- ① シホ
③ ゲンマン

ステップ2

- ② おばあさん
④ 衝撃

前書き

- ⑤ 心待ちに
雜木林

【場面1】

- ① 六年
② 三年生
③ 十月半ば

【場面2】

- ア 意地悪な妖精

【場面3】

- ① リハビリテーション専門
② 一年

- ① 例楽しみ
② 例約束

【場面4】

- ① 死
② 深い傷

【場面5】

- 1 圖祝祭日に風邪で熱を出して、おばあさんが入院していった病院

- へ行つたこと。

イ

- 例おばあちゃん、ずっと会いに行かなくてごめんね。クリスマスプレゼント、今受け取つたよ。すごく大変だったよね。ありがとう。

4 もうシホちゃんが誰なのか、わからない

【場面6】

◆ ウ

◆ ステップ3

- ◆ (1) ① イ、エ
 ② ア、ウ
 ※順不同可。
- (2) ① 二年半
 ② 後悔
 ③ 会えない
 ④ 愛情
- (5) 成長
 (6) 一か月半
 (7) 会いたい
 ※順不同可。

「象徴」（小さな手袋）について考えを深めよう



おばあさんはシホが雑木林に来なくなつたとき、どんな風に思つていたのかな。きっと、シホがおじいさんの死にショックを受けたことを察して、心配していたね。だからこそ、シホのために手袋を作つて、どうしても渡したいと修道女に泣いて頼んだんだよ。シホを少しでも元気づけてあげたいという深い愛情を読み取ろう。